

津麦ニュース 令和4年産 第3報

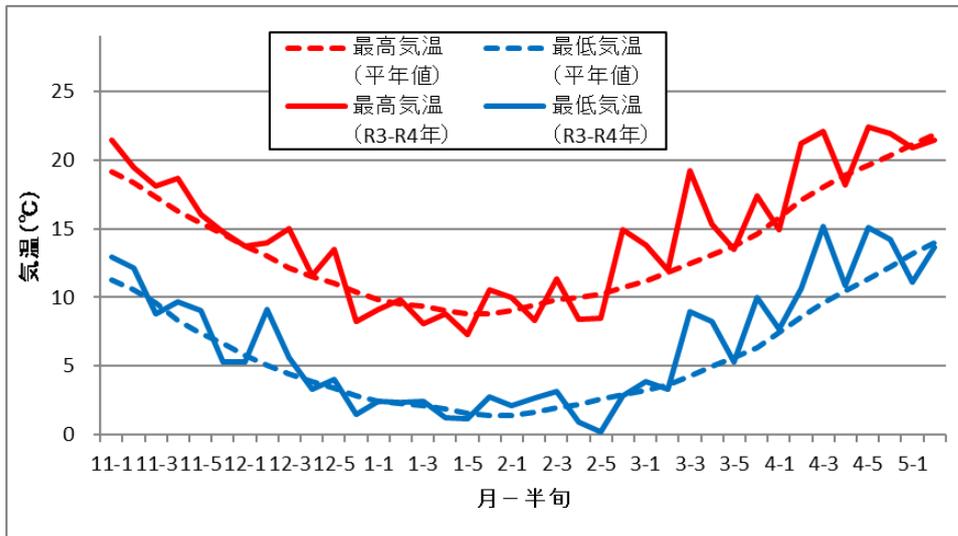
令和4年5月26日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

播種時期が早かったところでは生育が早くなっています。
適期収穫を行い、良質麦を確保しましょう。

<気象経過>

○気温

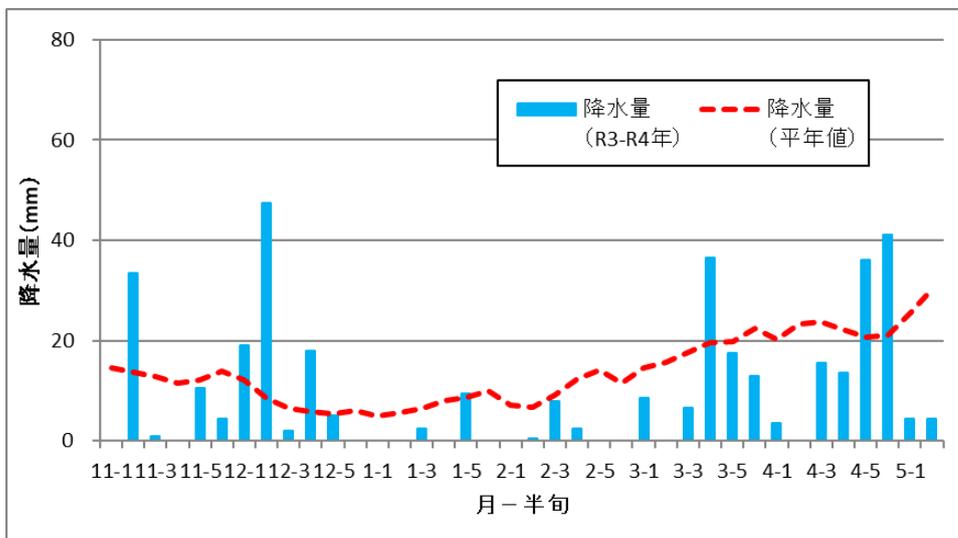
12月第6半旬～2月第5半旬を除いて気温は高く経過しています。
11月上旬から5月上旬までの平均気温は平年より0.8℃高い状況です。



○降水量

1月～2月の降水量は少なく、それ以降は一時的なまとまった降雨はありましたが、4月第1半旬～第2半旬は少なく推移しました。

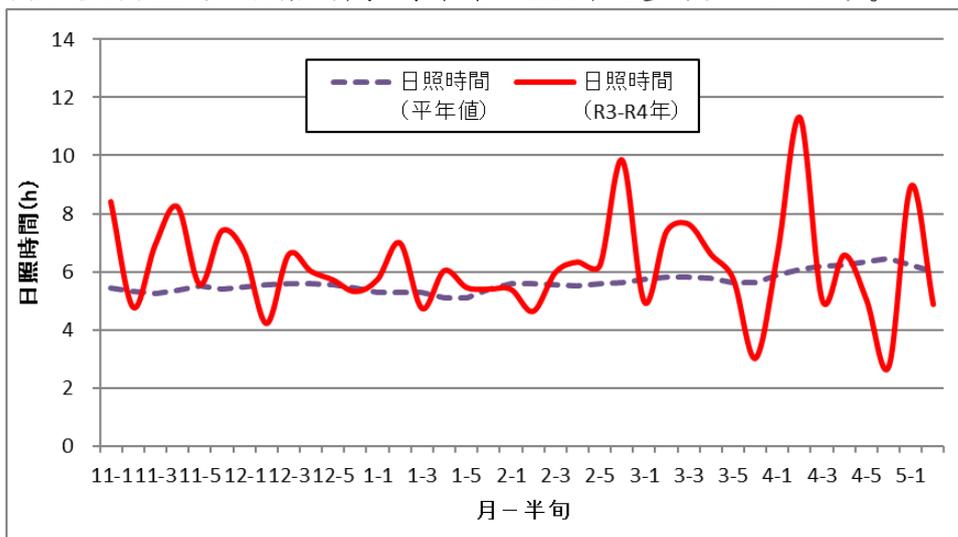
11月から5月上旬の降水量は、平年の69%と少なくなっています。



○日照時間

降雨の影響により日照が少なかった時期はありますが、全般として、概ね日照時間が多く経過しています。

11月から5月上旬の日照時間は、平年の110%と多くなっています。



<麦の状況>

○ 生育状況

11月15日頃までに播種したほ場では、12月第5半旬まで気温が高く推移したことから、初期に生育が進みました。12月第6半旬～2月第5半旬に低温となりましたが、2月下旬から気温が高く推移したことから、生育は早まり、出穂時期は11月5日播種のは場で4月10日頃となりました。

一方、11月下旬以降に播種したほ場では、12月からの気温低下もあり、初期の生育が遅れましたが、2月下旬から気温が高く推移したことから、生育は早まり、11月25日播種のは場で4月15日頃の出穂となりました。

播種時期の天候に恵まれたことから苗立が確保されており、その後も順調に経過していることから、全体に生育は良好です。近年、チゼルプラウ等による排水対策がされており、湿害の発生は少ない状況です。一部、生育過剰により倒伏が見られていますが、今のところ大きな問題はないと思われます。

○ 病虫害発生状況

赤カビ病の発生が見られます。赤カビ病が多発している箇所は、刈り分ける等、カビ毒混入に注意してください。

<今後の対策>

○ 適期収穫

麦の収穫適期のめやすは、穀粒水分27～28%になった頃です。

- ①成熟期前後に雨にあたると穂発芽の発生や、容積重が低下し、外観も悪化して品質が低下します。今後の天気を考慮し雨が続きそうな場合は少し早めから収穫を開始しましょう。
- ②あやひかりは白穂品種で収穫時期が判別しにくいので、水分測定を行って刈り取り時期を判断しましょう。
- ③本年の麦の生育予測によると、あやひかりの成熟期は概ね昨年並みの5月第6半旬～6月第1半旬となると思われます。

収穫作業の準備は早めに行い、生育状況を注視して、適期作業に努めましょう。

○小麦の生育予測

令和4年5月23日現在

| 品種 | 播種日 | 出穂期 | 開花期の 予測日 | 成熟期の 予測日 |
|-------|--------|-------|-------------|-------------|
| あやひかり | 11月5日 | 4月7日 | 4月13日 | 5月28日 |
| | 11月15日 | 4月10日 | 4月15日 | 5月29日 |
| | 11月25日 | 4月14日 | 4月20日 | 6月1日 |

※メッシュ農業気象・麦生育予測システムVer.2.0による予測です。

津市平野部の気象データを使用しました。

○雑草対策(ネズミギ(イタリアンライグラス)、カラスムギについて)

繁殖能力が強く、連作ほ場で発生が見られるところがあります。ほ場での発生が確認された場合には、発生量がわずかでも結実前に抜き取りましょう。また、作付け計画を見直し、一年休耕して耕起や非選択性除草剤で防除、常時湛水で種子の死滅を図る等の対策を行いましょう。